

## 1 事業実施の方針

被災地や紛争地及び開発途上国の子ども達、障がい者、貧困層の人々に対して、スポーツや教育、その他の活動を通じて自立につながる事業を行い、苦境に立ち向かう人々や子ども達が人生にチャレンジするための「希望と勇気」を持つことが出来る機会創造に寄与することを目的とする。特に、途上国の人々が自分達のかかえる問題を自らの力で解決していけることを目指し、彼らの視点に立って、彼らと共に人材育成に力を注いでいく。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業概要	事業内容	実施日	実施場所
大会等の運営協力と対地雷被害者への義手・義足支援他	・アンコールワット国際ハーフマラソン運営協力	アンコール遺跡群を巡る AIMS(国際ロードレース協会)公認のチャリティーマラソン。75の国と地域から7,580名が参加。 18回大会を機に、運営をカンボジア側に全面移譲した。今後はHG代表は名誉大会長として参加し、HGは後援団体として協力。	4月 ┆ 3月	カンボジア (シェムリアップ)
	・対地雷被害者への支援	アンコールワット国際ハーフマラソン大会から、6団体を通じて、カンボジアの義手・義足、障がい者、子ども達、貧困者等への活動に支援 (本年US\$19,400支援、第1回からの支援総額US\$313,817)	11月 ┆ 3月	カンボジア
	・エイズ予防キャンペーン	アンコールワットウォーキングにてエイズ予防の広報活動を11月29日に実施	11/29-	シェムリアップ
被災地、紛争地における生活者の自立支援事業	・日本語教育	・公立小学校内でHGむつみ日本語教室を開校(4クラス、79名) ・日本の学校と交流(異文化理解・持続可能な開発のための教育支援)	4月 ┆ 3月	カンボジア (シェムリアップ)
	・New Child Care Center/NCCC運営(ハート・ペアレント/里親制度)	・養護施設(NCCC)をハート・ペアレント(里親制度)にて運営(3月末18名) ・食堂改修、事務所改築、納屋等環境整備実施		
	・環境整備・人材育成(日本国際協力財団支援事業)	・ローカルスタッフの人材育成 ・チェイ村のお母さん達のための健康・栄養・料理教室開催		
・3.11子ども animo プロジェクト	・復興支援として、野蒜小学校に校外学習費と卒業アルバム贈呈 ・小・中学校・公民館(宮城県・福島県)に太陽光街路灯設置(68基) ・現地学校・在宅復興施設訪問・交流		宮城県 福島県	
障がい者スポーツの振興、障がい者と健常者のスポーツ交流促進	・カンボジア障がい者・障がい者ランナーの支援	・カンボジア障がい者陸上連盟(CDAF)の支援 ・有森代表と障がい者の対談 ・日本のマラソン大会(かすみがうらマラソン)への招へい	4月 ┆ 3月	日本 カンボジア
ランナーズエイトの促進 国内外におけるランニング大会、スポーツイベントの主催・後援・協力	・スポーツエイト事業 チャリティーマラソン・チャリティーディナー・ハザード・音楽会など	・国内のチャリティーマラソン・スポーツイベントなどを実施協力 ・スプリング・チャリティーディナー 他を 実施協力 ・主催・後援・協力 14回 実施	4月 ┆ 3月	日本 (全国)
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	・小学校体育科教育振興事業(JICA草の根技術支援事業)(JOCV協力事業)	・カンボジア小学校体育科教育普及の第3フェーズが、教育・青年・スポーツ省(MoEYS)と協働で開始。MoEYS担当官12名の育成、地方での新体育普及体制確立の為に活動を実施。2013年度は6州でワークショップ・モニタリングを実施。 ・2014年1月にはMoEYS認定の小学校体育科教育の初の指導書が作成された。3174部が作成され、全国への配布を開始している。	4月 ┆ 3月	カンボジア(スヴァイエン、タケオ、プレイグエン、クラチエ、ラタキリ、ストウトレン)
	・図書館建設 ・雨天体育施設建設 ・運動会実施指導 ・HGカップジュニアサッカー大会	・図書館を建設(コンポントム州のテチョーミヤ小学校) ・小学校初の雨天体育施設を建設(シアヌークビル州、チアシム小学校) ・教育省主導の運動会を(日本から専門家を派遣)実施。運動会マニュアルの作成等にも協力(シェムリアップ州、ワットチョーク小学校) ・HGカップジュニアサッカー大会(15州から224名参加)を開催。	5月 ┆ 2月	カンボジア (コンポントム、シアヌークビル、シェムリアップ、プノンペン)
	・研修会・講演会	・人道援助などシンポジウムやパネル展、講演会などを開催・協力 講師: 有森代表、HG顧問、専門派遣者、スタッフ、事務局等 25回実施	4月 ┆ 3月	日本 カンボジア
	・ステイター協力 国際協力の現場視察とボランティア体験を通じた国際理解	・実際に現地を見学し、交流することにより貧困・環境・平和・開発などの問題について理解を深める。(12月企画ツアー、他ツアー企画協力) ・ウォーキング大会で日本からのツアー参加者との交流 ・学生・団体のステイター受入れ協力(33団体受入)	4月 ┆ 3月	カンボジア
	・サービスラーニング(学校教育支援)として、総合的な学習・国際理解・ボランティア教育に協力	・要請に応じて学校や団体に講師を派遣(岡山ESD助成) 国際協力、国際交流、国際理解、開発などの実践的学習の協力を行う。(小・中・高等学校・大学等) 13回 実施	4月 ┆ 3月	日本 カンボジア
	・出版/調査研究/学会発表	・学術論文・大学紀要、学会発表、シンポジウム参加 ・カンボジア障がい者事業現地調査	4月 ┆ 3月	日本 カンボジア

## (2) その他の事業

定款の事業名	概要	事業内容	実施日	実施場所
ハザードその他 物品販売事業	チャリティーハザードの実施やグッズ販売・パネル展示	下着、キャップ、本などの販売やパネル展示を通して活動支援金を広く集める。これに並行して、活動内容の広報を行うとともに、国内での活動支援者層の拡大を図る。各地区で開催されるイベントにも参加。	随時	日本